

「消防学校ニュース」

平成 29 年 8 月 15 日発行



水難救助科第 25 期 第 2 週へ突入！… そして修了へ

水難救助科第 25 期は、実践的な訓練で救助技術を磨き、7 月 24 日（月）の入校から 2 週間にわたる訓練を経て、8 月 4 日（金）に 23 名全員が無事修了しました。

第 2 週の実技訓練は、消防学校プールでスキндаイビング、スクーバダイビングや各種救助法を繰り返した後、海洋に場所を変えて実地訓練を行いました。

清水三保海水浴場では各種検索法や作業要領などの応用訓練、用宗港外港では各種潜水や防災ヘリコプターとの連携などの総合訓練を実施しました。

学校プールでの訓練

訓練でできないことは
現場でもできない



救助法訓練

水上での傷病者管理



3点セット（マスク、フィン、ウェイトベルト）での潜降



エアステーション訓練
プールの四隅のタンクの間を、空気を吸い、息こらえて泳ぐ…



水中での着装訓練



BCジャケットを着装し
潜降・浮上

水深
5mまで

潜降
浮上



One Chat ワンチャット(チャイネタ)コーナー

平成 29 年 8 月 7 日（月）の静岡新聞（朝刊）27 面をご覧ください。大きく紙面を割いた特集面「ソノ仕事×コノ絶景」で“消防学校教官”が取り上げられた。本校の教官のうち初任科のチーフである伊勢伸康（志太消防本部）に焦点を当て、迫力ある訓練風景の写真とともに、本校と本校教官のことが紹介されている。さらに「コレがなくっちゃ」のコーナーでは、本校教官しか着けられないワッペンも取り上げられた。

三保海水浴場での応用訓練

海洋における環境の違いと検索方法等基本的な水難救助技術を習得します。



視界のない海中での訓練



スキンドайビング



水上での着装



スクーバダイビング



コンパスナビゲーション

用宗港外港での総合訓練

港湾における各種水難救助技術と防災ヘリコプターとの連携要領を習得します。



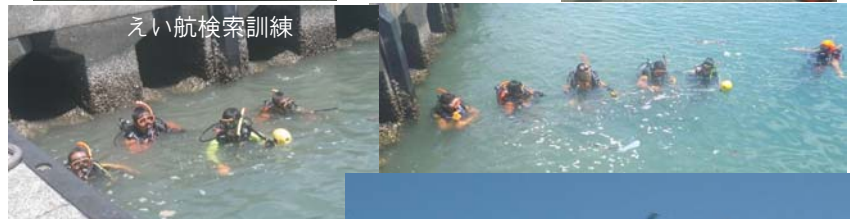
静岡市消防局水難救助隊の連日のサポート、県消防防災航空隊の連携訓練、厚くお礼申し上げます。



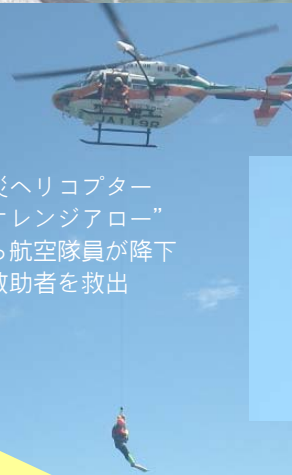
基本泳力訓練



えい航検索訓練



防災ヘリコプター“オレンジアロー”から航空隊員が降下要救助者を救出



水難救助科学生が要救助者を航空隊員へ引き継ぐ



修了式

… これからそれぞれの所属に戻り、今回学んだ知識、技術をどれだけ現場で生かすことができるか、教育訓練の成果をいかに所属に還元できるか、今後の大きな課題であり、本日の修了式が課題に向けての新たな第一歩となる …



… 水難救助科の厳しい訓練を受けてきた、その期待と信頼に応えるべく、常に自分自身を研鑽し、実践的な救助技術の習得に努め、水難救助のプロとして、また将来の指導者として、県内各地域での活躍を大いに期待している …